

牛由来の炭酸脱水酵素 II、組換え

Cat. No. NATE-1463

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 炭酸脱水酵素（または炭酸デヒドラターゼ）は、二酸化炭素と水を重炭酸塩とプロトン（またはその逆）に迅速に相互交換する反応を触媒する酵素のファミリーを形成します。この可逆反応は、触媒がない場合には比較的遅く進行します。ほとんどの炭酸脱水酵素の活性部位には亜鉛イオンが含まれており、したがって金属酵素として分類されます。

用途 炭酸脱水酵素は、二酸化炭素捕集システムの作成や、さまざまな精製技術の研究に使用されます。炭酸脱水酵素はまた、魚の酸塩基調節や炭酸脱水酵素タイプII欠乏症の研究にも使用されます。ウシ炭酸脱水酵素II（CA II）は、タンパク質折りたたみプロセスの調節においてモデルタンパク質として広く使用されています。

別名 炭酸脱水酵素; 炭酸デヒドラターゼ; EC 4.2.1.1; 脱水酵素; 炭酸脱水酵素; 炭酸脱水酵素; カルボキシ脱水酵素; 炭酸脱水酵素 A; 炭酸水素リラーゼ

製品情報

種	牛の
由来	大腸菌
外形	無色透明な液体
形態	20 mM Tris、pH 7.6、150 mM NaClの溶液として供給されます。
EC番号	EC 4.2.1.1
CAS登録番号	9001-03-0
分子量	29-31 kDa
純度	>90% は SDS-PAGE による
活性	> 5,000 ユニット/mg
濃度	500-700 µg/ml
単位定義	1ユニットは、0 °Cで20 mMトリスバッファーのpHを8.3から6.3に1分あたりで低下させます。

保管・発送情報

保存方法 製品は-20 °Cで保管してください。初回解凍後、酵素はアリコットで-20 °Cに再凍結する必要があります。

安定性 製品は、供給された状態で少なくとも2年間安定しています。